



この冬、もっと言語活動を充実させます

言語活動は、学習指導要領のキーワードでもあり、学力向上を成した学校は言語活動を重視しています。三学期、本校では教育活動全体で「言語活動の充実」を念頭に、生徒へ意識した活動を推奨していきます。

例

- ・授業や集会の発表で、聞き手を意識した内容、姿勢、声量、速さ、所作の指導

- ・自分の考えを書く、対話する、対話後の自分の考えの再構築をして書くなどの指導の徹底と見取
- ・生徒による番組の企画、原稿作成、ゲスト参加の構成など昼の放送のラジオ化
- ・「さしごさの会」ご指導のもと、希望生徒による実施生徒による読み聞かせ
- ・視覚に訴える元気の言葉や生徒の作品紹介、生徒会掲示委員による生徒会活動の紹介・学校の活性化

早速、生徒の皆さんは始業式で原稿をできるだけ憶えて発表するように努めており、発表者へ正対して聞くなど言語活動を意識した行動を行っています。また先生方も生徒が主体的に活動するよう掲示物の作成を促す場面があります。トライ&エラーは当たり前、まずはできることからやってみましょう。

PTA主催 車椅子トラベラー三代達也さんの講演 『車椅子の旅人Miyoの半生～出逢いと行動が僕の行動を変えた～』

1月13日(金)車椅子トラベラー三代達也さんをお招きしてPTA主催教育講演会が行なわれました。全校生徒と保護者23名、他校からの参観者も三代さんの熱い講演にエネルギーをもらつたと思います。

うつむいて生活していた三代さん自身が救われた言葉の紹介や、人にモテル方法の伝授、パルテノン神殿で知り合った「俺達宇宙生まれの宇宙育ち」と話すインド人の出逢いから得た幸せの感覚の体験、そして生徒との質疑応答を通じての交流など80分間がアツという間にすぎる温かな時間を過ごさせてもらいました。

「沖縄は全国でもトップクラスの温かさがあるバリアフリーな場所」「皆さんのがこの講演を通じて聴いた“気づくこと”が心に残り世の中を変える一歩になってほしい」などのたくさんの前向きな言葉がキラキラしていました。

私は前任校にいる頃から生徒に聞かせたいと熱望していた講演でした。その理由は、「人生はいつでも何度でもやり直せること、そしてそれは素直に助けを求めるか、人との出会いを大事にすることから始まること」を生徒に考えてほしいからです。友人関係が上手くいかなかつたり、悩みを誰にも言えず一人で苦しんだり、どうせ自分はと卑下したりとすぐにうつむくことがある生徒に生きていくコツ、みたいなものが伝わればいいな、と思っていました。講演後、生徒の表情が和らいでいたように感じたので、講演のねらいは彼らの胸に残ったものと信じています。

話は少し飛躍しますが、生徒のさんは「自立」とはどういうことだと思いますか。障がいのある方は「自立」していないのでしょうか。

私には三代さんは、「自立」を体現した素晴らしいモデルに映りました。



2年米すっこ、3年Aさん教育長賞受賞！2年ゆうはグループのPBL授業、際立つ取組と発表！



1月13日(金)シャボン玉せっけんくくる糸満で糸満市教育の日PBL授業発表会と市長賞・教育長賞表彰がありました。

PBL授業発表では「2年2組ゆうはグループ」が、「鶏の餌を確保しよう」というミッションに、粘り強く取り組んだ活動を理路整然と、堂々と発表しました。大変素晴らしい内容でした。また、今年度の県大会、九州での活躍が認められ「米すっこ(2年生)」「Aさん(3年生)」が教育長賞を受賞しました。